新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓（郵稅一ヶ月拾五錢）
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用③三二二五　營業局專用③三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

第二次世界大戰への備へ

無言の威壓全き國境の礎關東軍

風雲に侍す北滿持久軍

一、ソ聯極東軍に對抗する力

人類最後の大闘爭たるべき太平洋を中心に吾々の想像することの出來ない大規模な世界大戰が勃發する、そしてその時機はさほど遠き將來ではないなど、世界各國の軍事的天才は深謀遠慮な研究の結果第二次世界大戰勃發の危機の近きを强調してゐる

然り、最近における國際情勢、殊に支那問題を繞る極東の新情勢は「人類最後の大闘爭への準備」を必要とする凡ゆる要素を多分に抱懐しつゝ推移してゐる

世界各國はその欲すると欲せざるとに拘らず、かゝる新情勢に對處すべき諸般の準備を進めつゝ人類の最も幸福な國家の建設に邁進してゐるのである

此の最大なる幸福な國家を建設するためには、各々の國家は凡ゆる犧牲と困難を排除して遂行しなければならない「國策」と、これを「防衛」するところの「老大なる國防陣」の整備を絕對に必要とするのである、何となれば「國防とは國策の防衛」であるからである

わが日滿兩國は、極東和平の確立と、東亞聯盟の結成とを天與の國策としてその大偉業完成に邁進してゐるのであるが、わが光輝ある皇國陸海軍の搖ぎなき鐵壁の防衛陣こそ、この國策を防衛するところの國防軍に他ならぬのである

然らば、わが天與の國策である東亞聯盟の結成と極東和平確立を妨害する外力、即ち壓力は何であるか、それは北方より日滿兩國を壓迫しつゝあるソヴエイト聯邦の陸上武力と、英米の海上武力の二大壓力である

茲に於て先づ吾等が愼深の考慮を拂ひ、凡ゆる犧牲を以てしても排除しなければならない外力は、北方より日滿兩國を威壓しつゝあるソヴエイト聯邦の陸上武力なのである、極東におけるソヴエイト赤軍の軍備は、滿洲事變を契機として急速度に增强され、今日に於てはその總兵力四十萬と稱されるに至つた

この赤色勢力は蜒蜿四千餘キロの滿ソ、滿蒙の兩國境線近くに配備され、虎視眈々として日滿兩國の動靜を注視し、その間隙をねらつて進擊の機をうかゞつてゐるのであるのであるが、榮光に滿つるわが關東軍こそ、このソヴエイト聯邦の陸上武力に對する最大强力な防衛軍であり、東亞の風雲に侍す作戰軍である

ソヴエイト聯邦の陸上武力と東亞の風雲に侍す日滿共同防衛の重責を擔ふ關東軍とは、極東における二つの對立した防衛勢力であるこの二大勢力は善きにつけ惡しきにつけ極東における自國の運命を決定する「キーポイント」となるのである、日本と滿洲とソヴエイト聯邦の三角關係、否日滿兩國の完全なるブロックによる二角關係は以上の如く巨大な防衛勢力が滿ソ外交問題殊に國境問題に關しては全世界の注視が直ちに集められ一部に喧傳されるやうに遂に日ソ兩國は危機に陷ち込むのだらうか、或は兩國が曲りなりにも兩國の極東における力を考慮して國交の持續と協調的關係を進めて行くであらうかとその動向に對して全世界はさま〴〵のポーズをつくり、注視の眼を向けるのである

然しながら世界の現下の情勢は豈に極東のみでなく歐洲における佛伊、獨ソの關係に於ても、又最近異常な動きを見せつゝある獨波兩國の關係の如く、歐洲の諸情勢は種々な危機を孕みつゝ推移してゐる

斯うした國際的對立關係に於て特に吾々が注意せ拂はねばならぬのは、歐洲大戰當時の對立關係と全然異つた新しい要素を發見することである、それは共產主義國家ソヴエイト聯邦と、一資本主義世界との政治、軍事、經濟、思想、文化をも含めた全階級的對立である、この共產主義國家ソヴエイト聯邦の赤化の慘禍を防ぐべく結成されたのが日獨伊滿の四ヶ國反共ブロックであり、この反共ブロックは洋の東西から凡ゆる手段と方法を講じて赤色勢力の排擊をなしつゝあるのであるが。現在共產國家ソヴエイト聯邦と眞正面から相對峙し、その一擧手一投足が全世界注視の焦點となつてゐるのは日滿兩國の動向であり、また日滿兩國共同防衛の重責を擔ふ關東軍の動向である

二、東亞の風雲に侍す北滿持久軍

現在における日ソ、滿ソ間に橫たはる諸懸案は、日ソ漁業問題をはじめとして、北樺太における石油問題、滿ソ國境畫定ならびに國境河川における航行權の問題である

更に現在滿ソ兩國間において折衝中の領事館壓迫問題も滿ソ、日ソ間の重要懸案である

殊に國境問題は單にその國境線畫定に止らず直接間接に軍事的性質を多分に帶びて來てをり、將來においてソヴエイト聯邦の共產主義と日滿兩國の大陸政策遂行力との摩擦點を決定する問題であるから政治的にも軍治的にも相當重大性をもつものである。若しソヴエイト聯邦にして極東侵略の戰意なく、東亞永遠の和平の大局的見地に立つて日ソ、滿ソの協調を志すならば、徒らに危險と犧牲とを伴ふポーツマス條約の規定せる如き無防備狀態を新條約締結その他の有效適切なる方法によつて現出することが最も賢明な策であらうが、世界赤化の毒牙を磨きつゝあるソヴエイト聯邦は先づ極東の赤化革命を成功に導き、然る後に世界の赤化を企圖してゐるのであるからソヴエイト聯邦とその利害相反する日滿兩國との對立抗爭はその欲すると欲せざるとに拘らず將來においてもなほ繼續されなければならない

茲において吾々は、斯る宿命的な對ソ關係を考慮するとき最惡の場合を豫想して最善の努力を至さねばならないのである、それは日滿共同防衛陣の强化であり、「東亞の風雲に侍す關東軍」の陣容の整備と、その戰略における諸要素即ち戰闘力の總體を支配するところの精神的要素、更に物理的、數學的、地理的、經濟的要素の强化である

若し吾々が宿命的に北方よりする外力即ち赤色壓力と抗爭を繼續しなければならないのであれば、日滿共同防衛の最前衛である關東軍は、少くともバイカル湖以東におけるソヴエイト聯邦の極東兵力と同等の兵力を滿鮮に保有しなければならないのである、現在における極東のソヴエイト赤軍の總兵力は四十萬を遙かに突破し、更に超重爆擊機と優秀なる戰闘機は旣に一千數百臺を數へ、又戰車一千數百臺と潛水艦六十餘隻が配備されてゐるのであるから日滿共同防衛陣の陣容を、この極東における赤軍勢力と同等に擴充强化しなければならないのである

戰術上においても、戰略上に於ても兵力の優勢といふことは勝利のための最も一般的にして、且つ最も重要なる原則であるからである

そのかみフレデリック大王は、ロイテンの戰において約三萬の兵を以て八萬のオーストリヤ軍を破り、ロスバッハの戰において二萬五千の兵をもつて約か萬の同盟軍を擊破した、又最近に於て即ち今次支那事變に於て、わが忠勇義烈の皇軍は何れの會戰に於ても何處の戰闘に於ても五倍から十倍の支那軍を擊破して大勝を得てゐる、然しながら斯うした實例は近世史に於ては實に稀であつて、殊に今次支那作戰における日本軍の大勝は實に卓越優秀なる將帥の用兵作戰の妙と、忠勇義烈な將兵の精神的要素即ち皇軍の士氣旺盛の結果にほかならない

ナポレオンは、ドレスデンに於て十二萬の兵をもつて廿二萬の敵を擊滅し、ライプチッヒに於ては十六萬の兵力を以て廿八萬の敵に對抗して敗戰の憂目を見なければならなかつた

こうした點から觀ても、最も非凡な、如何に卓越優秀な將師たりと雖も自巳の統率する陣營の二倍以上の兵力を有する敵と相對して決定的な勝利を得る事は至極困難な業であり又兵力の優勢が他の如何なる不利な條件のもとにあつても猶且つ勝利を得るに有力なる要因であると云ふことが理解できる

それは古今を問はず各國の將師が戰闘にのぞむにあたつて「吾、先づ敵の抵抗力を壞滅せしめんとするならば、出來得る限り最大の兵力を動員すべし、これが吾々の守るべき第一の鐵則である」と言ふ、斯く戰略論から見ても兵力の優勢が外力の壓迫に對して絕對的な勝利を決定するのであるから吾々が東亞聯盟の結成と、東洋人の安寧と幸福を翹望するならば、吾等天與のこれ等國策の遂行を妨害するところの外力、即ちソヴエイト聯邦の陸上武力に對抗するため、日滿共同防衛の武力裝備即ち關東軍の陸上戰、空中戰、地中戰に於ける裝備の强化並に滿洲國軍の精鋭化を圖らねばならないのである、更に武力戰と併行して作戰部門の重要缺くべからざる併用戰即ち經濟戰、攻略戰、思想戰、宣傳戰の諸般の準備を進め國家總動員態勢の確立完成に全力を傾倒して國防力の充實を圖らねばならないのである

東亞永遠の和平確立の大旆をかざす皇國日本の對支政策は凡ゆる犧牲をしのび外力の壓迫と妨害を排除しつゝ着々と進められ、新支那の建設の大偉業は本格的軌道に乘つて邁進してゐる、皇國日本が北方に對する脅威を考慮することなく主力作戰部隊を支那大陸に遣り支那軍を徹底的に擊破潰滅することを得たのも一に滿洲國に在つて北方の壓力を排除しつゝ、北滿持久軍としての重責を擔ふ關東軍の無言の威壓に他ならないのである、支那事變の進行と併行して北滿持久軍の武力裝備は强化さるべきであり、そうされることによつて支那事變の解決を早めることになるのである、ソヴエイト聯邦の對蔣援助は極東軍の腹背を突く關東軍の動向如何によつて容易に遮斷され、又調節出來るからである、東亞の風雲に侍して滿ソ國境の礎となり、新天地大陸の最前衛に立つ關東軍の使命こそ極東に於る吾々の運命を決定するものである

五龍閣溫泉（五言古風）

長白　寶熙

滿洲四溫泉（五龍、湯崗、熊岳、興城、四處）風景稱五龍、其山高嶤々、其水淸溶々、亭閣特幽秀、草木多蘢茸、池裁半畝蓮、園有百株松、泉甘上生肥、混爆適合中、謂能醫宿痾、浴人頻過從、大造孕靈液、古跡傳朱蒙、沈霾千餘年、今始璇源通、誰人起樓臺、海東盛豪雄、經營成勝地、山館誇玲瓏、我來偶信宿、洗濯生淸風、況逢秋雨霽、山色翠滴空、滄浪孺子歌、池上樂天翁、吾生固有涯、此樂終無窮

祖國の名譽發揚遺憾なきを期す

中支派遣軍最高指揮官大將　畑俊六

聖戰第二次の新春を迎へ麾下將兵と共に遙に聖壽の萬歲を祝禱し奉つて臣子の感激之に過ぐるものはない、畏くも東久邇宮殿下、賀陽宮殿下に於かせられては畏き御身を以て久しく戰務に御勵精、劍電彈雨の間朝夕御武德の範を御示し遊ばされたことは一同の恐懼に堪へぬところであつたが舊臘內地御歸還引つゞき激務に鞅掌遊ばされながらも御健勝にて御越年遊ばされた由承はるのは一同の謹んで御慶祝申上げるところである

□　□

銃後の各位には、今事變發生以來之が徹底解決の爲め物心を通ずる總動員に協力、各方面些の動搖もなく、此處僅々一年有半の實績に徵しても、頗る目覺しい活躍を示され、更年愈々一大飛躍を期せられつゝあるのは全軍將兵の何よりも意を强くするところであつて征戰に曆日無しと云へ、我等亦舊年の小成に安んぜず、本日早晨陣中に旭日を拜して恩賜の淸酒を酌み、士氣益々軒昂、南北の友軍と相呼應して、意氣は旣に全支を吞みつゝあり、殊に過去數次の交戰によつて、抗日黨軍に徹底的の打擊を與へ、中支の極要を桀紂の暴力から救ふことを得たが、こゝに民衆の中から帝國の眞意を解し新東亞建設を目指す運動が澎湃として占領區域に漲つて來たことは寔に同慶に堪へぬところであつて、直接干戈を執つた吾々としては、殊更衷心からの喜悅と滿足とを禁じ得ないものである

□　□

思ふに我東洋に於て誕生し特に日本に於て發達した眞に永遠和平の根元たる道義的立國思想に支那民衆を融合せねば今次事變の解決は到底望み得ないところであり、殊に現在我中支軍廣大な占領區域は嘗ての抗日容共思想の策源地であつたので軍の任務が主として抗日軍隊の根絕に在ることは固よりではあるけれども、仁威並び施す民衆尉撫は由來皇軍傳統の精神とするところこれを實際に徹底せしむべく早くも砲煙の裡から難民を救ひ良民を宣撫し、一方旣に成立後十ヶ月堅實な發達を遂げてゐる維新政府等新支那建設の熱血人士と提携しつゝ治安を確保し生業を助け或は歸順の匪軍を綏撫すると共に、一方神速斷乎たる作戰によつて不逞の徒を絕滅する等、時に屢々犧牲を生じながらも前線將兵が、眞に支那民衆と一つ心になつて聖業達成の爲邁進、一身を顧みざる其活動は余の特に告げ度きところのものである、旣に奧地に遁走した黨軍が恃むべからざるを恃んで如何に長期抗戰を叫ばうと、直接間接の外力が如何なる形、如何なる强さで現はれやうと我正義の前には、何等介意を要せざること旭光に浴した薄氷と撰ぶ所が無いであらう

□　□

出征以來異域に殪れ又は身體の自由を失ひ或は今尙病床にある將兵に對しては部下一同とともに哀惜痛恨の情休まるときはないのであるが余は其家族並に之等諸勇士の衿持と銃後の施設に絕對の信賴をおき、幾多尊き英靈に報らいんず、只管、之に酬いずんば已まざる現地全軍將兵の心を心とし、今や新東亞を建設して道義を世界に布かんが爲其總力を發揮しつゝある祖國の武力行使を擔當してゐやが上にも其の傳統的名譽を發揚し以て再び用ひざる戈を振つて遺憾なからんことを期するものである

現下國際情勢下に「於ける思想戰」

關東軍報道班長　小林隆

蔣政權最後の重要據點たる武漢三鎭ならびに廣東の陷落に依つて支那事變は一大段階に到達しいよ〳〵本格的長期戰の幕は切つて落されたのであるが、事變始まつて以來、わが忠勇なる將兵の奮闘と熱誠なる銃後の活躍に對して今更感激の外なく、こゝに輝かしき新春を迎へ翩翻たる日章旗を眺むる時、廣大無邊の御稜威に感激すると共に、更に奮起一番の覺悟が湧出するを覺ゆる次第である

今更こゝに說くまでもなく戰爭が宣戰布告に始まり、媾和に終始する時代にあつては武力戰が最後の勝利であつたが、今次事變においてはこの概念は完全に覆されたのである

即ち戰爭の火蓋は兵器に依つて切られたのであるが、眞の勝利を得るためには之に續く外交戰、經濟戰、思想戰の絕對的協力を必要とし、武力の背後にある國家總力が動員されなければならない綜合國力戰であることを如實に示しつゝあるのである

この國家總力戰の中に思想戰は重要なる地位を占めてゐるのであるが、思想戰はその對象が思想であり人の心であるため特に堅確たる信念と覺悟を必要とし、その結果も武力戰、經濟戰等の如く明確に表面化されないものであるため重大なる關心を要し充分なる檢討を重ねなければならないのである

まして民族が異なりその風俗、習慣を異にする人々に對する精神的指導は最も困難であるといはねばならぬ、元來思想は個人の思想が、その性格環境に依つて相違してゐると同樣國家においてはその民族の性格、即ち民族性とその環境、即ち國家及び民族の地理的、歷史的條件に依り差異を生ずるものである

しかしながらこれは原始社會における個々の場合であつて、條理ある全體的共同社會の場合においては國家も同樣人類共同理想社會建設のためにその思想は統合され統一されることを建前としなければならない

こゝにおいて世界各國は思想を選擇し得るにも拘らず國家はその政治的、經濟的政策遂行のため、自國思想を或る時は高揚し、敷衍し、更には强調して讓らず、こゝに思想戰が開幕されるのである

即ち事例を擧げればソ聯は自國政策即ち世界赤化侵略のために共產主義思想を揭げ、その目的完成にあらゆる手段を講じてゐるのである

更にこれを今次の事變に例すれば蔣政權はソ聯の援助あるがために長期抗戰を續行し得るのであるが、從つてその國共合作政策の結果は火を見るよりも明かに支那全土は共產主義思想に支配されとしてゐるである

之に對しわが日本はこの支那の共產主義思想の浸潤の現狀に對し、これを防衛する傍ら進んでわが世界無比なる日本精神即ち皇道精神の宣布といふ重大使命を擔つて起ち上つてゐるのである

而して今少しくこのことを詮索するならば、ソ聯は日本への赤化侵略の第一手段としてまづ支那に赤化思想の魔手を植ゑつけ然る後日本へその準備を進めて延ばさんと着々準備を進めてゐたのであるがこのソ聯の魂膽こそは蔣政權をして日本と戰はせ、表面に立たせロボット政權となし、支那を共產主義化すると共に日本の疲弊を待つて一時に日本をも赤化思想により攻略せんとするに他ならないのである

故に今次事變を思想戰上より見れば共產主義とわが皇道精神との全面的衝突抗爭といふことが出來るのである、かくの如く思想は各國政策の具に供せられ、人類共存共榮の大理想に到達するを妨げられてゐるのであるが、これは吾人等人類のため眞に遺憾に堪へないものである

然らば現在世界には如何なる思想體系が奔流し相反撥してゐるであらうか

旣述ソ聯は世界赤化侵略を目指して共產主義思想の宣傳流布に餘念がない

ナチス・ドイツ、ファシスト・イタリーは、これに對抗して防共を國是とし全體主義思想を揭げてこれが涵養に邁進してゐる

そしてその他の列國イギリス、アメリカ、フランス等は自由主義、民主主義をもつて現狀維持せんと努めてゐる

この三つの思想の外にわが皇道精神とは現在世界を代表する四大思想として旣に周知のことゝ思ふが、然らばわが日本はこれらのどれに當るものであらうか

曩に日本はドイツ、イタリーと結んで防共協定を締結したが、これは決して日本がドイツのナチス思潮或イタリーのファシスト思潮とその軌を同一にし、或はそれに順應してゐると見るは大なる誤謬でたゞわが皇道日本精神と防共の點において共鳴してゐる關係上かくも鞏固な協定を締結したのである

勿論赤化の點においてはわが日本精神に相容れざるは自明のことであり、今次聖戰の目的も亦こゝにあると謂ふも決して過大な言ではないことは旣述の通りである

即ちわが日本は膺赤膺時の銃靡よりして、皇統連綿たる皇道精神の大錦旗を振りかざして共產主義の排斥に努めると共に一方、個人主義、功利主義を基調とする文化體系を揚棄して所謂皇御國を完成するべく共に新しい道義世界觀の確立即ち東亞新秩序の創造に向つて敢然と立ち上り、混沌たる思想戰の眞只中に乘り出してゐるのである、同時にこれは又昨日今日に始まるものではなく、わが國肇國以來の皇道宣布の民族的使命でもあるのである

從つて支那事變に伴ふ思想戰の意義は極めて重大であり、その困難もその及ぼす國際關係よりして頗る多岐多大であるといはれねばならぬ

しかして吾等は我が日本精神が東洋民族の爲最も幸福であり、人類の思想世界を建設する唯一最良の道であることを東亞協同體の構成民族のみならず全世界の人心をしてわが國に歸依、心服せしめねばならないのである

即ち今後の思想戰における日本の動向は共產主義、自由主義の完璧を期すると共に自由主義、民主々義を克服して日本精神の世界進出を講ぜねばならないのである

支那事變により日本は從來極東を支配して來た英米を主體とした西洋の世界としての體制を廢棄して新しい機構による日滿支を打つて一體とした新協同體を建設し、東洋人のための世界へと覺醒せしめてゐるのである

斯くて日本の企圖する東亞協同體の理想は單に東亞にのみ通ずる偏狹な局部的眞理でなく、全世界が西洋諸國の築きたる文化により自らの危機を招來しつゝある今日、之を救つて新しい世界史への出發に對する希望と光明を與ふるものであつて、所謂八紘一宇の精神にほかならず、その任務たるや亦極めて重大である

今や日支事變は更に進展して東亞新秩序の建設に直面しようとしてゐる、吾人はこの重大時に當つて高遠なる理想論を經て無益な縱橫な偏倚なく自在、而もその中核は大盤石に置く如き確固不動の精神をもつて所謂わが國肇國の大理想を心として新亞細亞體制の確立に一路邁進しなければならないと信ずる

偶語

氷炭相容れぬ伊佛の間は正月早々危機爆發の一歩前に緊迫してゐる▼即ち伊太利ムッ首相は佛蘭西軍備の弱點に乘じ一擧に佛領ソマリランドを占據せんとする肚らしい▼これ對し佛蘭西は一九三五年の英佛海軍協定を復活し紅海封鎖の共同手段に出るであらうが伊太利はそんなことは凡そ問題にしてゐないであらう▼何となれば擴充せる優勢なる空軍を有する伊太利は艦で紅海を渡るやうな馬鹿なことをしないからである▼とにかく問題が焦眉の急を告げてゐることは佛首相が元日早々コルシカへ急行したことによつて明らかだ▼獨伊英佛四ヶ國を繞る歐洲の情勢は新春早々いよ〳〵最後の段階に向ひつゝあることは看過出來ない▼これに關聯して極東に及ぼす影響も決して渺からざることを痛感する▼汪兆銘の國府に對する重大聲明に對し國府は一日中央委員會常務委員會に於て汪の褫免を決議したといふ▼汪に逃げられ白また反蔣蹶起を傳へらる蔣の沒落もいよ〳〵時日の問題にまで追詰めて來た

社説　東亞協同體の心的基礎

東亞協同體といふ日本が今次事變の成果としてこの大陸に實現せしめようとする大目的については、日本人一般はもはや概念的にはこれに對する心構へは出來てゐるであらう。しかし日本人を除いた爾餘の東洋諸民族に在つては、未だこの東亞協同體建設のための精神的基礎は成つてゐないと見るのが正しいであらう然らばわれ／＼は、これら諸民族のためにこの新理想に邁進せしめるための精神的基礎をつくり上げるために努力することが極めて肝要であらう長期建設職は着々と押し進められつゝある。その結果出來上るべき新體制は單なる形式的な表面の構築だけで足るものではない。その中核をなすところの、しつかりとした精神的用意、精神的結合がないならば、東亞協同體といふものも決して充實した内容を持つてつくり上げられることは出來ないであらう。思ふに此の事業は當面に着手することを要する大事業である。われ／＼はこのためにあらゆる手段を講じ、われ／＼の持つ智能のすべてを捧げることが必要である。曾つて先哲は、亞細亞は一つであると說いた。今こそこのことが事實によつて證明されねばならない時なのである。年頭、變移する支那を眺めながら、筆者は切にこのことについて想ひを致すものである。

汪精衛の聲明

先般來その行動を注目されつゝあつた汪精衛は、十二月三十日重大聲明を發表してその意想を明らかにした。それは蔣介石並びに國民黨各機關に宛てられた聲明であつたが、その要旨はわが近衛首相の聲明について說き日本の主張の公正さを認めたものであつたすなはち善隣友好、防共提携、經濟提携の三つの主張について原則的に同意すべきであることを說いてゐるのである。
これはこれまで國民政府並びに國民黨の取り來つた態度と照合すれば全然新しい立場を取つたものであつて、國民政府や蔣介石にとつてはまさに爆彈的聲明であつたといふべきであらう。但しこの聲明が行はれた結果として、國民政府乃至國民黨がどれだけその態度を改めるかは疑問である恐らくは一層共產派に引ずられることであらう。ただ未だ表面には躍り得ないにしても心ひそかに汪精衛の主張に贊するものは出て來るであらう。われ／＼はかゝる同憂の士に對しては適切な態度を取ることを忘れたくはない。汪精衛の聲明發表に相當の效果があつたであらうことは容易に推察出來るわけである。さらにわれ／＼は今後を見まもりたいと思ふ。

新門戸開放主義

星野直樹

或る外人の訪客

或日或國の石油會社の人が私の所を訪ねて來た、そして滿洲國が石油の專賣を行つたことに付いて非常に不滿の意を漏した、私は其の從來の商賣に影響を與へたことに就いては甚だ御氣の毒であるが、滿洲國の經濟樹立の爲には之も已むを得ないと云ふことを說明した、然るに尙執拗に專賣制度の不當なることを述べ立てた、そこで私は君の國には專賣がないかと反問した、するとそれは勿論澤山あると答へた、それでは滿洲國も專賣制度を施くことは當然であり君も諒解出來るであらうと云ふと彼は寧ろ驚き且つ亦不滿氣な面持で私の國のことを問題にしてゐるのではない、私の國とは事情が違ふと答へた

そこで私は何處が違ふか疊み掛けると、東洋諸國と西洋諸國とは一緒には出來ないと答へた

其の後同じ國の外交官が同一の問題に就いて私の所にやつて來た、そして滿洲で專賣制度を施くと云ふことは條約違反であると反擊した、先づ斯くの如きは開放主義に違反すると主張して、その理由として滿洲國は支那の條約上の義務を承繼してゐる、そして支那は佛支通商條約に依り專賣制度を施くことを禁止せられてゐる、從つて滿洲も專賣制度を施くことは條約上禁止せられてゐる筈であると主張した、私は滿洲國は建國の宣言において從來の合理的國際公道に適つた外國の權利は尊重することを宣言したが、然し一國の獨立自主を害するが如き條約を繼承する意思などは毫もない、佛支條約の如きは余の關知する所でないと答へた、そこでその時その外交官はその儘立ち去つた

門戸開放の淵源

そも／＼天津條約なるものは一八五八年天津において調印されたものであるが、成る程その第十四條において「今後淸國に於て如何なる特權ある商事會社も設立せらるゝことを得ず、商業に對する專賣を目的とする聯合に付亦同じ、淸國官憲は佛國領事若くは佛國領事代理の意見に依り、當該聯合を解散せしむる方法を講ずるに注意すべし、尙淸國官憲は自由競爭を阻害すべき一切の事項を除去するが爲、豫め禁令を以て該組合存立の防止に努むべきもの」とある

抑々天津條約は英佛戰爭の後淸國が所謂城下の誓を結んだものであり、從つて屈辱的片務的であることは止むを得ないであらう、然し所謂支那の再興を保障すると云ふ美名の下に唱へられた門戸開放主義と云ふものは、斯くの如き條約をその儘支那に押し付けこれが履行を迫るものであることを知る時に所謂門戸開放の本質は直に暴露せらるゝではないか所謂門戸開放の文字が用ひられたのは一八九八年ロシヤの關東州租借の際に、アメリカ國務卿ジヨン・ヘーのロシヤへの書翰に對するロシヤの外務大臣ムラビヨフが答へた返信の中に、ロシヤの支那よりの租借地域に關する限り門戸開放政策に從はむといふ文字を用ひたに始まる、その後この文字が合言葉として段々廣く用ひらるゝことゝなつた、所謂九箇國條約は支那の發展を增進するを以て目的とし從つて支那の獨立及び領土的行政を完備せしむることを其の劈頭に唱へて居る、然し其の第一條の第三項には「凡ゆる國の支那に有する商工業の機會を一律に平等にすべし」と定め其の他これを通觀して實は所謂門戸開放、機會均等の原則を闡明するに外ならぬ、卽ち支那全土を以て歐米各國の事實上の共同植民地とし、從つて例へば先に述べたるが如く支那の佛國に與へた天津條約に依る片務的屈辱的の協定に對し各國が均霑するが如き事項を恒久化するが如き事を實際の內容とする

歐米の閉鎖主義

更に思ふ、歐米諸國が所謂自由主義に依つて國際通商の開放を主張し實行しつゝあつた間は、この支那に對する門戸開放の主張も尙ほ聊か道義的根據を有し、また實質上支那經濟の發達を阻害することが少かつた、然るに一方、支那に對する門戸開放の要望の漸次擴大せらるゝ反面において、歐米諸國自體は却て通商に對する自由開放主義を揚棄し、相率ゐて保護主義閉鎖主義に傾きつゝある、世界戰後における英國の所謂マッケナー關稅はこの轉換の第一聲であり、更に一九三二年オッタワ會議はその轉換の完成の表示である、玆において支那に對する門戸開放主義の主張は全くその道義的根據を失ひ、然も又東洋の經濟發達を根本的に阻害する事實となつた

抑々東洋諸國に存する西洋との屈辱的、片務的關係はこれ悉く十九世紀中葉に於て西洋諸國が其の武力を以て東洋を壓迫し、又は東洋の無智なるに乘じてこれを欺き以てこれを設定したものである、卽ち今日世界に於て最も不公正なるものであり、所謂道義世界の建設を阻害するものこれより甚だしきものはない、日本はこの關係を打開する爲めに血みどろの努力を以て其の目的を達した、滿洲國は其の建國の際に之等のあらゆる屈辱的條約を揚棄して、新に平等の立場に立つ國際關係の開始を宣言し昨年十二月日本帝國との間の治外法權撤廢の條約及びこれに際しての海外諸國に對する聲明に依り、その完全なる目的の達成を完了した、然も尙ほ東洋諸國にはこの片務的狀態の殘存するもの尠しとしない、之が淸算こそ眞に東洋に明朗なる道義世界を現出せしむべき絕對的の基礎であらねばならぬ

眞の門戸開放

先に述べたる如く今や世界諸國は好むと好まざるとに拘らず國際主義より鎖國主義に、開放主義より國家主義に赴きつゝある、ブロック經濟と云ひアウタルキー經濟と稱するもの等皆この現れである、この結果として世界の資源領土の分配の不公正の現況及びその影響は深刻に現れ、從つて國際關係の深刻なる對立は之を避くることが出來ない、これ今日世界不安の根本の原因である、從つて今日世界の不安を除去せむとする爲には、二個の前提を必要とする第一には資源分配の不公正の是正であり第二には各國が出來得る限りその門戸を開放し他國と自由の交易を營むことである卽ち新門戸開放主義は二十世紀の道德の一つであらねばならぬ、然し乍らこの門戸開放主義は飽く迄道義を基礎とし從つて自主的相互的であらねばならぬ、斷じて片務的又は壓迫に依り强制せらるゝものであつてはならぬ、而して我が日滿兩國は道義世界の顯現を以てその國是とする、從つてこれが具現の一つとして、新眞門戸開放主義を天下に提唱するものである、先般米國のハル國務卿の抗議に對して日本帝國有田外務大臣の聲明並に我が張國務總理大臣のポーランドとの協約を結ぶに際しての宣言はまたこの主旨を天下に聲明せるものに外ならぬ、再び云ふ所謂門戸開放はこれを揚棄すべし、何となれば所謂門戸開放主義とは東洋を永久の植民地と爲さむとする歐米諸國の非望のカムフラージユされたものに外ならないからだ、然しながら玆に我々は新眞門戸開放主義を提唱する、蓋しこれこそ世界を眞の平和に導く所以と信ずるが故をもつてである

軍事多端な植田軍司令官

向つて左端磯谷參謀長、右より二人目矢野參謀副長、右端河原秘書官

大使命を感じ勇躍禁じ難し

滿洲帝國協和會中央本部長　橋本虎之助

昨年はいろ／＼な意義深い一年であつた、先づ第一に擧げねばならないのは皇軍聖戰の輝やかしき戰果である、卽ち皇軍は此の一年に於て蔣軍の首都南京を陷れ、要衝徐州を屠り、長驅して漢口、廣東等の據點を完全に占據して蔣政權を中原より逐ひ

東亞の

新しき黎明を畫すべき新政權は皇軍庇護の下に中國民衆によつて建設せられつゝある、斯くて黨軍の暴壓下に久しく埋れて發せざりし東亞の道義は玆に輝やかしき復興の氣運を見るに至り日滿支を繫ぐ道義による提携結合はこゝに完全に成らんとし、東亞永遠の平和の基礎は着々として確立せられつゝあるのである、誠に偉大なる皇軍の威力といふべく、偏に御稜威の然らしむるところとは言へ亦將兵勇武の賜物にして感激に堪へないところである、次に擧げねばならないのはこの一年間に飛躍したる我國の國力充實と、これに伴ふ對外的地位の向上とであらう、昨年は治外法權撤廢第一年として我國が名實共に獨立國としての第一歩を踏んだ記念すべき年であつたが諸事概ね所期の成績を收め友邦の期待と信頼に應へ得たることは同慶に堪へない所であつた、就中產業建設第一期計畫の順調なる進展により我が國力の充實發展愈々目覺しきものがあり、獨伊兩國の承認並に兩國との修好條約締結及びフランコ政權との交互承認等によりて國際的地位を確立すると共に、これによりて我が產業計畫の進行愈々順調を加ふるに至つた、殊に日、滿、獨、伊、西、を繫ぐ東亞防共樞軸の確立强化せられたることは我が建國の理想に鑑み誠に

慶賀に

堪へない所であつて昨年の成果である支那事變の進展とこの防共樞軸の確立とは人類の歷史上特筆さるべき意義を持つものである、卽ち、この事は共產主義を始めんとする群小主義思想を淸算して人類を王道革新に救ひ取らんとする崇高至上なる聖業への本格的發足を示すものであるからである、今玆に新しき年を迎へるに當りて多忙なりし過去一年を回顧すれば誠に感慨新たなるものあると共に光輝に充てる康德六年は更に大きなる使命を我等の前に展開せられあるを感じて勇躍禁じ難きものがある、卽ち事變の進展に察し又防共樞軸確立に顧みれば滿洲國の責務漸く重要性を加へ來れることを痛感する次第であつて武力戰に於ては既に頑敵を中原より逐ひて要衝を占據したりと雖も思想戰、建設戰に於ける現段階は未だ聖戰の半途にあり、我々は一大決心の下に堅忍持久勇往邁進して惡虐を掃ひ人類永遠の康寧のために寄與貢獻し長期建設達成を期せねばならないのである、斯くて日滿兩國一體の努力によりてやがて支那大陸はその相貌を改め歐米依存、容共抗日の古き衣を脫ぎ捨てる東洋本然の姿を取り戾し、日滿支相携へ一體となりて對外思想、經濟戰に臨むことゝもなり

全東洋

に王道樂土を建設することゝもなるのである、我々は確信を以てこの事を期し一路直往、各自の部門を擔當して總力戰の戰線を益々强化し殊に此の間に處して我々協和會員は愈々その使命を達成し以て國家所期の成果を收めるために全力を盡さねばならない、玆に聊か信念の一端を披瀝して年頭の辭とする次第である

年頭の辭

蔡外務局長官

内富家强國の根基を確立すべき產業五ヶ年計畫の遂行に不斷の精進を續け外盟邦と協力して新東亞建設の歷史的大業に參畫しつゝ吾人は玆に康德第六年を迎ふることゝなつた、余は既往における我國民の輝かしき

業績を

回想して新なる年に約束せられたる我内外の躍進に大いなる期待を懸くものである、支那事變は昨年度に於て急速なる進展を遂げ、早くも戰事に一段落を畫して愈々長期建設の段階に入るに至つた

言ふ迄もなく今次事變の目的は東亞に新なる秩序を確立し日滿支三民族の康寧を永遠に確保せんとするにあるのであつて盟邦將士の勇戰に依り既に不逞の徒を逼塞せしめ中國蒙疆の民衆亦既に吾人と協調の方針を決するに至りたりと雖も眞の建設は總て今後に殘され、而も大いなるもの完成に避くべからざる幾多の困難を伴ふを免れないのである然れども此業たるや我建國の大精神、日滿提携の根本義たる東亞民族の康寧確保に對する絕對的必要に基くものであつて、固よりその達成の困難なるの故を以て之を放棄し得るが如き性質のものでもないと余は日滿兩國民の不動の決意と眞摯なる

協力は

必ずや之を完成すべきを確信して疑はざるものである、共產主義は我國是と本質的に相容れざるのみならず、實に東亞禍亂の一大原因をなすものであつて之が排擊は我國土の防衛と東亞の安定に對する絕對不可缺の一要件である、之を剿滅し東亞の天地をその慘毒より救ふは啻に王道國民として吾人の當然の任務なるのみならず實に東亞民族全體の共同責務である、之に關し既に强靱なる日獨伊防共樞軸の厳として存在するあり中國蒙疆の民衆亦漸く之に目覺めつゝあるは東亞百年の爲眞に大慶と言はなければならない、帝國と列國との關係は逐年改善を見、曩に我國を承認せるサルバドル、ドミニカ、羅馬法王廳、イタリー、スペイン等の諸國の外昨年度に於てはドイツの正式承認、ポーランドとの領事館の法律上の地位正常化に關する取極、中華民國臨時政府及び蒙疆聯合委員會との代表機關の交換及びスペイン駐箚公使の任命等幾多外交上の業績を擧げて着々我國際地位の向上を見つゝあるは邦家の爲誠に

同慶に

堪へざる所である、又政府は夙に我對外通商關係を增進して我國經濟力を增强する急務なるを認め、既にドイツ及びイタリーとの間に特に通商に關する協定を締結せるを始めとし昨夏更に親善並に經濟使節團を歐洲に派遣して之が促進に努めしむる所があつたが我對外通商方針は過般の國務總理の聲明にも明なるが如く飽くまで公正なる門戸開放の原則に立脚して有無相通萬邦協和の實を擧げんとするにあるのである、現に列國中我通商政策に誤解を抱くものなきにあらざるが如きも余は我公明なる態度は必ずや列國の諒解する所となるべきを確信して疑はざるものである、現下國際政情は日に險惡にして我國亦對蘇關係を始めとし特に戒心を要するもの決して一二にして止まらない、余は年初に當り我國民が深く之に鑑み益々盟邦との提携を緊密にし更に銳氣を新にして我肇國の大使命達成に邁進せんことを特に切望して止まざる次第である

產業五ヶ年計畫の進行（一）

產業部次長　岸信介

陛下の御稜威と忠勇なる將兵の奮鬪により廣東、武漢の攻略を完了し、支那事變は愈々長期建設の新段階に移り、今日全國民新たなる決意を以て東亞の新秩序の建設に邁進すべき新年を迎ふるに至りたるは誠に慶びに堪へない次第である。顧つて滿洲においては今日をもつて產業開發五ヶ年計畫の第三年度を踏出すのである、しかして東亞の新建設の經濟的分野における滿洲產業開發の役割はます／＼大となりその責益々重い、依つてこの滿洲經濟開發の基幹をなすこの產業五ヶ年計畫の實績を顧み併せて東亞建設におけるその意義を考へて見たい

滿洲產業開發五ヶ年計畫は御承知の如く滿洲國第二期建設の中心事業であり一昨年（昭和十二年、康德四年）より之を實施せられてゐる、滿洲建國第一期五ヶ年は創成時代であり、その間盟邦日本の指導と援助の下に治安の肅清、政治財政機構の確立を實現し經濟的分野においても幣制その他基幹制度の整備と各種資源の基本調査が行はれたのである、かくて近代的國家の整備を完了した滿洲國がその基礎の上にその必然的發展階段として更に内面的充實發展を期するのがこの產業五ヶ年計畫とも言ひ得る、從つてその目的とする處は一は以て國際情勢に對應して日滿國防上必要資源の開發であり建國理想に從つて日滿經濟一體の原則の具現であり、更に以て滿洲國建國上產業開發を通じ秩序と協同の再組織の完成を庶幾し、國民生活の安定、民族協和の顯現を促進せんとするにある

□　□

五ヶ年計畫の内容は具體的に如何なる範圍を包含するかといへば鑛工業、農畜產業を中心とし交通通信部門を含み外廓部門として移民計畫を併行する、五ヶ年計畫が國防資源の開發をその第一目的とする以上鑛工業、就中銑鋼、石炭、液體燃料、電力等にその重點を置くは言をまたず、その他鉛、亞鉛、金パルプ、鹽曹達、自動車、飛行機、兵器、車輛等を增產せんとするものである、その他農畜產部門においては馬、羊毛、棉花等軍需作物及びルーサンその他馬糧作物に特に重點をおかれ、その他米、小麥等の食糧も一旦緩急の場合の現地調達に應ずるため增產が計畫されたのである、交通通信部門においては此等一般增產に卽應し、更に國防的見地に立ち鐵道及び國道の建設並にその改良であり羅津、壺蘆島の築港及び通信施設の擴大等を計畫してゐる

第一年度の實施成績を見るに着手半年にして不測の北支事變の勃發となりそれが支那事變にまで擴大し、爲に日本の生產力は非常な重壓を蒙りその他輸送關係、技術員及び勞働力にも多大の障碍を見、これが滿洲開發事業に多大の影響を與へたのであるが、幸ひ官民一致の努力により或は第一年度は少くも八分通り或はそれ以上の成績を收め得たのである、簡單にその實績を說明すれば

イ、鑛工部門においては鐵鋼、電力、アルミニユウム、曹達灰等概ね當初計畫以上に進捗し、石炭、亞鉛、鹽、パルプ、車輛等略豫定の成果を收め、只液體燃料及び金は聊か遲延を來した、而して自動車、飛行機、兵器については實施方法の考究中に第一年度を經過したのである

ロ、農產部門の開發も一部種子手當不足、或は耕作技術の幼稚等の外全滿にわたる水害、南滿の洪水等を伴つたにも拘らず一般作付狀況は當初計畫を突破する成績を見、實收量を確保し得

ハ、畜產部門においても改良場種畜場擴充、技術員養成配置、獸疫防制遏等基本施設は略豫定の進捗を見、在來種緬羊牛馬豚の增殖ならびに畜產物も當初計畫に近き實績を得たが、只緬羊馬を通じ改良種、改良雜種の成績は充分ではなかつた

ニ、交通、通信部門においては順調なる進步を遂げたのである

右の如く支那事變の影響を深刻に受けたに拘らず官民協力整備したる組織の運用と、盟邦日本の援助によつて克く困難を突破し、大體豫定に遠からざる實績を收め得たのであるが、支那事變の擴大は國際情勢の急激擴大なる變化を齎らし、この五ヶ年計畫もこれに照應して修正を致すの必要を生ずるに至つた、依て一昨年十二月滿洲重工業開發株式會社を創設して綜合的開發に備へると共につゞいて第一年度實施成果を勘考し各種資源の調査の進行の結果をもとり入れて修正計畫をたて、更に日本における生產力擴充年次計畫とも連繫し眞に日滿一體の開發計畫たらしむべく日滿兩國協議の上昨年五月積極的修正案を決定するに至り、爾來所管官廳、特殊會社その他官民一致その新計畫達成に邁進してゐる次第である

□　□

ではその修正の眼目は何處にあつたかといへば、第一は鑛工業部門の增產目標の大擴大であり第二は農畜產業部門の方針修正である、支那事變を契機とし日滿支を一連に結びつける新國際情勢の展開は日滿を一體とし更に北支、中支をも考慮した廣範圍の經濟圈域を形成するに至つたが、時局に對する生產擴充の要求は益々熾なるものがあり、滿洲國は自ら「もてる國」たるを意識し、日滿支ブロックにおけるその果すべき役割の益々大なるを自覺しこゝに日滿協議その有する資源その他の條件に應じ計畫の全面的擴大を行ふに至つたのである、而してこの修正は主として鑛工業部門に屬するものであるが少しくこれを說明すれば、本修正計畫の重點が鐵鋼、石炭、電力、液化燃料、自動車、飛行機等にあることは當初計畫と變化はないが、その生產目標は著しく既定計畫より擴大された、例へば銑鋼に於ては銑鋼共にその目標を倍加し石炭に於ては鐵鋼及び石炭液化の擴大に伴うて三千八百萬瓲と增大、電力に於ても發電容量二六〇萬キロワットとこれ亦倍加したのである、その他自動車、飛行機車輛に力が注がれることゝなり更に國際收支の改善卽ち爲替資金の立場から四年間三億圓の金を修正增加計畫と新たに五ヶ年計畫の實施を確保する爲工作機械の生產計畫が考慮されることになつた、又パルプについては北滿木材の開發の外に葦豆稈の原料による四十萬瓲計畫あり鹽に百萬瓲計畫あり、アルミニユーム、マグネシーム鉛亞鉛、銅も現下緊急の非鐵金屬についても能ふる限り增產を期し當初計畫に比し約倍益の擴大を期してゐるのである、これが實現の曉は滿洲國の相貌は農業國より一大鑛業國へと一大變化を來すであらうと考へられる

然し乍ら農畜產部門においてはその條件及び影響の複雜且つ廣大なる特殊性に鑑み、鑛工部門と區別し、農家經濟の實態を考慮しこれが實行方法につき特に愼重なる再檢討を加へ單に特需農產物の取得に偏することなく民族協和と農民生活の安定、厚生の線に沿うて可能なる適當の程度に目標を加減按配することゝなつたのである、この修正計畫は實施せられたのであるが、その進行の實績について未だ調査整はず、全般に亘り詳細を期することは出來ないが事變による各種障碍のます／＼增大せるにも拘らず當年度においても亦多くの部門において豫定に近き實績を擧げ得たるものと考へられる

國策漫才　節約豪華版

橘家ミッキー
橘家マウス
金子晃天畫

○「長期戰下の新春、お互ひ節ハッキリでいきたいですなあ」
×「はあはあ」
○「そしてやがて來るべき東洋平和の黎明を迎へたいですなあ」
×「どうぞ宜敷く」
○「なんやそれ。頼りない返事やなあ、あんた僕の言ふ事判らんのと違ふか？」
×「ダマレ共產匪ー！」
○「エーッ」
×「憚りながら吾輩も新日本のインテリ漫才師である、ゾヨ」
○「なんやアホらしい。それが言はふならインテリですわ」
×「つまりそのテリです」
○「そのテリ！」
×「從て時代に對する認識位は確り把握してますわ。特に僕がこの新春を迎へて一段と強化の必要を痛感し、實行に努力をかけようと決心した事は？」
○「何ですか？」
×「消費の節約です」
○「結構やねえ。どうも我々素人には一層その必要がありますな」
×「僕は元旦の黎明と共にこの決意を堅めました。斷然たる大決心を堅めました。あゝかくて今僕の心は實に光風霽月です。明鏡止水です。落花狼藉です」
○「落花狼藉は變ですねえ」
×「思へば事變以前迄の僕は勿體なくも大切な金錢を、さながら湯水の如くパッパとばらまき……」
○「エーッ」
×「朝に千金の美酒を酌み、夕に萬金を以て美妓を購ひ……」
○「エッ、エーッ。アノ、アノネー君、それ誰の事です？」
×「紀伊國屋文左衛門氏です」
○「そんなアホなこと」
×「兎に角僕は元旦から先づ禁酒禁煙を斷行、和服と洋服の二重生活をやめ……」
○「偉いですなあ」
×「三度の食事を二度にし、便所の回數を減らし……」
○「そんなもの減らさんとけ」
×「いや減らす。斷じて減らす」
○「さう意地にならんでもえゝがな。ケッタイな男やな」
×「更に家賃の支拂ひを減らし」
○「そら無茶ちうもんですわ」
×「ところで他に何ぞ節約するもんのないやらうか？」
○「知らん。併し節約にも限度がありますな。僕の伯父はある商店を經營し、雇人を十人程使ふとりましたが、先天的節約癖から半分の五人に減らしました」
×「はあはあ」
○「それで十分間に合ふと今度は三人に減らし、二人に減らし、到頭全部解雇したが依然間に合ふ」
×「そら少しモノ凄いですな」
○「十人全部解雇して間に合ふによつて、こりゃ女房も要らんちうて、伯母さんを實家へ戻し……」
×「エーッ。それほんまですか」
○「自分一人で懸命に働いてみると一人でも間に合ふ。そこで伯父が考へました、とりゃあワシも要らん」
×「エッ、エッ、何です？」
○「こりゃあワシも不必要だと考へたんです。そこで最後に自分も首を縊つて自殺を……」
×「そんなアホらしい……」
○「しかけた途端に僕が發見救助し、懇々とその不心得を說き、眞の節約を敎へ、爾來夫婦の誠も復活して目下圓滿にやつとります」
×「どうも君の話眞面目に聞いとられへん」
○「兎に角我々も大いに節約の誠に沿つてやりませう」
×「贊成やね。時に君煙草あつたら一本呉れんか？」
○「煙草？ おい、君は禁煙を斷行した筈やないのか？」
×「そらさうですわ。そして先づその第一段階として、自分で買ふてのむのやめたんですわ」
○「わつ。よう言はんわ」

伯母さんを實家へ
女房も要らんちうて

必勝の春ではあれど酔へもせず

初風呂も戰局ニュースばかりなり

初夢に戰地の兄の勇ましき

爆撃機なぞとガンギをつけ列べ

かびさせず戰地へ餅の送りたさ

蔭膳へ先づ屠蘇をさすおやぢあり

初荷みな代用品を山と積み

武道千一夜

新春映畫界の王座に燦として
輝く豪壯興趣の名篇!!

東日サンデー毎日連載 第一山中貞雄 最後のオリジナル 日本最高作家の遺稿

放つ巨匠 三瀧澤英輔 演出
巨星が放つ 村仲大 郎
豪華 原作

三大巨星競演
大河内傳次郎
山田五十鈴
黑川彌太郎
外東寶時代劇オールスター

天一坊事件?赤手空拳身は一介の浪士徳川三百年の幕政の峨々たる礎を崩さんとたくらむ大膽不敵な陰謀に恥ぢず一世一代の大芝居を果して成るや成らずや!天下未曾有の一大暴露事件に関かる

入場料 壹圓
今週は招待券及び割引券はお斷り申上ます

帝都キネマ

エノケンのびっくり人生

榎本健一 主 二村定一 再加入
演 霧立のぼる 共演

エノケン映畫の名匠山本監督とガッチリ組んだ エノケン・エリキリハリの超爆笑の極致!

地と天國

戰勝の新春は杉狂の 哄笑から●●●
主演 杉狂兒 松本秀太郎 日暮里子
山本禮三郎 吉谷久雄 見明凡太郎 朝萬

第二週 笑ひの爆彈!!
お正月はカタのこらない娯樂映畫を

四日封切 七日迄 料金一圓 毎日早朝九時半開映

新京キネマ

荒獅子

日活京都超特作×脚色比佐芳武×監督松田定次
江戸市井の闇にうごめく悪の世界に
奮然と起つ荒獅子劍法!
主演 嵐寛壽郎
月形龍之介・市川正二郎
大倉千代子・原駒子
瀬川路三郎 香川良介 酒井米子 團徳麿 助演

斷ち難き肉親への恩愛の絆を絶って一切の過去も忘れ自らを市井遊俠の鄙に投じた参鐵火侍の數奇な半片を彩る劍と戀の皮肉極まりなき活舞台!

朝日讀賣ニュース

怪猫謎の三味線

四日目の實演と映畫

新興十八番 森靜子・高山廣子
巨匠手原虛彦 鈴木澄子・歌川絹枝
の異色篇!他女優延員
五萬人の總出演

主演 上山草人 立松晃 山口勇 淡島みどり
演出 召波功雄 脚本 小出英雄

四日より四日間

銀座キネマ

貧しき者の幸福

笑ひの交響樂 前後篇 同時上映

森靜子 高山廣子 雲井八重子
新興スター 實演と舞踊

新興キネマ幹部スター大擧來演

4日ヨリ 豪華實演

怪談鴛鴦帖 紀之國屋文左衛門
OSK出身

森靜子 高山廣子 雲井八重子

舞踊と實演!

一度に見たい

新しい感覺の!!新興!!澄子!!得意の怪猫映畫!!

怪猫謎の三味線

監督 牛原虛彦
共演 鈴木澄子・高山廣子・森靜子・女優總出演

笑と涙の交響樂!

貧しき者の幸福

立松晃 山口勇 上山草人 淡島みどり
愛の巻 純情の巻 前後篇 同時上映

銀座キネマ

謹祝皇軍連勝新年

皇紀二五九九年

謹賀新年　皇軍萬歳

皇紀二五九九年

新春の劈頭を飾る 全滿氷上第二部選手權大會
兒玉公園リンクに新人競ふ
けふ熱戰火蓋切る

興亞新春劈頭の競技界を飾る新人登龍門としてスケーター待望の滿洲氷上競技會主催第一回全滿氷上競技第二部選手權大會は愈よ三日、四日の兩日に亘つて兒玉公園リンクに全滿各省の精鋭をすぐつた意氣潑剌たるスピード六十名、フヰギユア十二名、ホツケー四チームの若人の參加によつて華々しく開催することゝなつた、この日午前十時を期して嚴肅勇壯なる入場式を擧行引續き各種競技が展開されるが、本競技會の成績如何は直ちに第一部競技會への出場權獲得に影響するもので銀盤上の制覇を目指すこれ等選手にとつては正に絶好の機會である、必然各競技は張り切つた實力一杯の熱戰が演ぜられるであらうことを豫想され頗る期待されてゐる

「訪歐の使命果して」
使節團船中大座談會

【時】康德五年十二月九日【場所】マラツカ海峽榛名丸甲板上にて【出席者】團長特派大使經濟部大臣韓雲階、副團長協和會本部委員甘粕正彥、團大連稅關長福本順三郎、團員興安軍管區司令官陸軍中將巴特瑪拉佈坦、同濱江省長韋煥章、同產業部建設司長王慶璋、同陸軍少將憲原、同交通部參事官夏紹康、同內務局參事官秦學文、同滿洲電業株式會社理事啓彬、同滿洲重工業開發會社理事宋靑濤、同總務廳參事官武藤富男、同產業部理事官風早義確、同民生部理事官王秉鐸、同鐵嶺縣長汪兆璠、同協和會委員岳興華、隨員經濟部秘書官淺井源二郎、同協和會職員山田清一、同外務局屬官影山芳夫、同滿洲映畫協和技師早川一郎、記者友松敏夫

（座談會記事中では各團員の氏名は敬稱を略し姓だけを呼びます）

…◇◉◇…

武藤　滿洲國通信社の希望によりまして使節團の座談會を開催することになりました、この席上ではどうか自由な御氣持で感激したことや面白かつたことなど皆樣の御感想を殘りなく述べて戴き度いと思ひます

甘粕　（青少年訓練）今回の旅行は向ふで決めた豫定で引張り廻されたに過ぎないのでこちらで充分硏究も出來ず、從つて滿洲へ歸つて歐洲を見て來たなどゝは云へないと思ひます、假令へばパリの歡樂境を見てフランスは淫蕩な國だなどゝ云ふのはこれは大きな間違ひで、その歡樂境で耳を澄ませばフランス語以外の言葉が話されてゐることが多いのです、そこにはフランス人よりも却つて他國の人達の方が多いと思ひます、フランス人の多くは非常に貯蓄心が旺盛で殊にフランスの百姓は勤勉で儉約家で有名です、從つて自分達が見て來ただけで政治とか社會とかに判斷を下すのは非常に誤り易いから避けられたいと思ひます

韓團長　私は先づ主題に入る前に團として新京出發以來陸に海に永い旅を續けナポリ上陸より直ちに公式訪問に就きその間三ヶ月餘の長きを過し、今や團員が元氣で悉く日程を終へ歸任の途に就いたことは何よりも一番欣ばしいと思ひます、偖て此の機會に於いて私個人としても又團としても感謝しなければならないことは此の使命を完全に果すことに於いて甘粕さんの御心痛なり御勞苦なりをつくづく感謝しなければならぬと思ふ、此點に就いては幾重にも御禮申上げます

甘粕　ヨーロツパ式の外交辭令見たいですね、少しくすぐつたいですよ

團長　いやお世辭ぢやない旅行中は各人の神經が尖つてゐて意見の相違もあつたが、全く感謝の外なかつた

風早　全く甘粕さんがゐなかつたら使節團もうまく行動出來なかつたかも知れませんね

團長　さて先程の問題に移りますが精神的にも實際的にも上下一致して歡迎して呉れたのは矢張りイタリーでしたね、此の點皆樣も御同感と思ひます、偖て私が歐洲旅行中最も感じたのはイタリー、ドイツの靑少年訓練に就いてです、勿論イタリー、ドイツの靑少年訓練方法を直接まねするわけには行かぬが、歸つて一番眞先に考へなければならないのは滿洲の靑少年を如何に指導して行くかと云ふことですね、それには先づ過去の惡習慣を根本より是正する、これに就いては協和會としても政府としても充分努力すべきですね靑年訓練と云ふことは滿洲國ばかりでなく日本にとつても必要だと思ひます、殊に滿洲國に關しては國運の消長はたゞに滿洲國ばかりでなく、東亞全民族の運命にかゝつてゐるのだから靑少年の訓練に就いては充分注意を拂ふべきです

甘粕　それで靑少年敎育の問題だが、滿洲國の現在のやり方に余り皆に媚びすぎていやしないかと思ふ、もう少し國家の必要とするところを基にしてぐんぐんやつて行かなければならないのぢやないか、必要なことはどしどしやるべきで、此點會費がどうだとか服裝がどうだとか仲々やかましいかこんなことには國家としても或種の犧牲を拂ひ一般ももつと相應の負擔をすべきではないかと思ひます

團長　學校方面にもこれから靑年訓練を實施しなければならぬ

風早　イタリーの靑少年訓練は何年やつてゐるか知らないが、もう十年もしたら相當の效果を擧げるだらうイタリーではその目標を精神的にも肉體的にもやつてゐる

甘粕　ファシストの靑少年訓練は十五年間じつと見てゐて吳れなければその成果は判らぬと云つたさうだがこれはその通りだ、で此點協和會運動は六年たつて未だやつとこんなものかなどと云ふ言は愼しむべきです

團長　靑少年訓練もこれから廿年たつて見なければその成果は現れて來ないのです

風早　イタリーは國民全體の智能が非常に低いからせめてあゝやつて國民統一やらなければ仕方がないのぢやないか、發明の統計から云つてもイタリーが一番低いのです

甘粕　滿洲國の進み方は早いといふがヨーロツパの各國も同樣に進んでゐる、一番變つたのはイタリーで乞食や浮浪人が少くなつた、統制が充分とれたのでせうね

風早　それはムソリーニの力のおかげでせう

團長　國家の消長は爲政者の力でどうにでもなる、全くその運用方法の如何によるる死ぬるか生きるか國家の運命を決するのは何といつても爲政者のやり方一つによるやうですね、未だ歐洲を見ない時私はこんな具合に考へてゐた、ヒトラーやムソリーニが死んで了つたら獨裁國の運命といふものは割にもろいものぢやないかと思つてゐたのです、ところが今度の旅行で現在の獨伊の靑少年の訓練を見てゐるとこれまでの努力と又將來の努力でこれ等靑少年の中から第二のヒトラー、ムソリーニが出て來る樣に思つたのです

福本　イタリー、ドイツであれだけの統制を加へてゐるが、國民がだまつてこれに服從して行くのは仲々偉いですね、それが下層階級にまですつかり徹底してゐるのには感心しましたよ

甘粕　ところが國民性もあるが日本人見たいに敎育の程度が高くなると人のやることに批判的になり過ぎて却つてうまく行かないのぢやないですかね

王　ドイツやイタリーの靑少年訓練を見ると滿洲國は恥しい、それは向ふの靑少年の常識が發達してゐて指導者の意のあるところが諒解出來るが、滿洲國では百姓の子供を集めて訓練しようと思つても何のための訓練かその精神が先づ判らないだらうと思ひます

甘粕　それは程度の問題ですよ、ポーランドやスペインから見れば滿洲國は數ヨの點では上ですよ、常識がないとも言へない、フランスなんか國民の四〇%が無就學者ですよ

王　然し滿洲國の農民はその點では原始人といつてもいゝ樣です、常識が發達してゐない

甘粕　それは貴方が外國の百姓を見なかつたからでせう

武藤　しかし滿洲國の一般農民は敎育し易い、それは原始的で白紙だからです、私は今度感じたのだがムソリーニは元鍛冶屋の息子であつた、そしてイタリーの指導者として國民に鍛冶屋的訓練を行つた、彼は國民を火の中に入れて鍛へ直した、ヒトラー總統は元畫家でもあつた、彼はドイツにデツサンを描きデツサン通りドイツを建設した、大戰後イタリーの國民は火の中に入れて鍛へ直す必要があつた、ドイツの國民は敎育があり訓練が出來て居つて鍛へ直す必要はなかつた、たゞ混亂狀態から救ひ出して整頓してやればその力を發揮することが出來た、これに反して滿洲國の人民は小兒と同樣である、全く白紙であるから敎育し易いし又敎育のやり方如何でどんなにでも立派な國民になる

團長　滿洲國民は從順だから精神統一はし易いかも知れないね

甘粕　滿洲國民の現狀が假に劣つてゐても悲觀する必要はない、訓練の如何によつては將來充分希望が持てる

（續く）

朝陽映島
（靜岡縣三浦濱にて）

巨鵬處女空路へ
豪華誇るその威容

〓上〓

防共の盟邦獨逸生れのJU八六型機が萬里の波濤を越えて滿航へ嫁入つて來たのは昨年の八月だつた。彼女はさすが世界一を誇る科學獨逸といふ父親が心血を注いで育てあげただけあつて商業機として一點非の打ちどころがないほど理想に近い優秀機だ。その姿體から見ても外皮平滑なヂユラルミン板を用ひた空氣力學上優秀な低翼單葉片持式で發動機はベエムベー三二DC八八〇馬力二基を裝備してゐる各部に就て示せば諸元―全長一七米四一〇全幅二二米五〇〇全高（水準時）四米七〇〇主翼面積八二平方米胴體は大體に於て楕圓型であるが操縱室から前方機首までは圓型で後方は次第に細くなつて楔型をしてゐる。中央翼は骨組が四本の縱桁から出來てをり胴體を構成する基礎となつてゐる。操縱席は前部貨物室の後方にあつて完全に袍包せられ展望良好二座席が設けられ航法計器動力計が悉く整然と見易く計器板に取付けられてゐる。翼は二個の外翼に分れて中央翼に取付けられてゐる。獨自な翼の後退角と上反角は外觀を美しくしまたユンカース二重翼として有名な固定した主翼と調整出來る下げ翼とから成り下げ翼即ちフラツプは着陸速度を減少する力を持つてゐる。外方の二重翼は同時に補助翼の役目をする。尾翼はまた一つの特異性をもち空氣力學的に能率よく設計せられ方向舵及び垂直安定板は二組より成つてゐる。脚は飛行中電動機によつて翼內に引込まれる、電動機が故障しても手動で出來るやうになつてゐる、輪間距離は三米一四〇車輪は九五〇×三五〇の中壓制動車輪である、尾輪は自由に迴轉出來るし固定も出來る

◇……◇

プロペラはユンカースハミルトン定速プロペラである、プロペラの進步は飛行機の進步と密接な關係がある、固定ピツチのプロペラが總ての飛行狀態で滿足な效率を充分發揮することが出來ないので米國ハミルトンスタンダード會社ではピツチを離陸上昇時に必要な低ピツチと巡航時に效率のよい高ピツチに調節の出來る可變ピツチプロペラが造られたがこれでも滿足されないので效率をよくする硏究が進められ遂に定速プロペラが出現したのである。このプロペラのピツチは全く自動的に變化して常に一定の回轉數を保ち發動機から與へられた動力を最も有效に發揮出來る、これこそ商業航空に於ける最も大きな收穫でユンカースが率先これを採用したことはこのユンカース八六型を一層價値づけるものと云へるがその性能―最大速度高度二五〇〇米にて每時三八〇粁、巡航速度高度三八〇〇米にて每時三一〇粁、最高上昇速度每時一六〇粁、着陸速度全備重量にて每時一〇〇粁―これは型錄によるデータであるが流石にナチス魂の權化と頷かざるを得ないではないか。

◇……◇

大連へ陸揚された彼女は奉天の滿航工廠へ輸送されこゝで本國からわざわざ付添つて來た同國技師の手によつて組立を終りナチスの紋所ハーケンクロイツは滿洲國の五色の紋所に塗り替へられた、淡いコバルト色に塗裝されたスマートな姿はなるほど歐洲でちやほやもてはやされただけのことはあると首肯かされる。だが如何に科學萬能の獨逸で折紙をつけられたものであつても氣候風土其他いろいろコンデイシヨンの異る滿洲に於てそのまゝ用ひてその有する性能を充分に發揮しまた絶對安全を保つかといふことは保證の限りでない。滿洲へ來たものはやはり滿洲に卽したものに叩き直す事が最も大切である、爾來四ヶ月間滿航專門技術家によつて精密嚴正なる各種試驗が行はれこゝに始めて絶對安全保證の太鼓判を捺された滿航式ユンカース八六型ともいふべき優秀陸上旅客機が生れたのである。斯くて滿洲商業航空に一大偉力を加へたユンカース八六型は康德六年の元旦を期し滿洲の玄關口大連と東滿の新興都市佳木斯間一千二百キロの線に就航することになつた。記者は巨鵬の處女航空を祝福しかたがた空の旅の快適さを滿喫しやうと一日午前九時三十分大連空港を出發した【寫眞は豪華な客室の一部】

三人殺し犯人即日逮捕さる
賭博の借金から兇行

夕刊既報、元旦を血に染めた伊通河畔三人殺し事件は本廳司法陣の現場檢證後何物をも竊取されて居らない點より單なる怨恨による殺害に見込を付け、被害者エムラス道路工業株式會社夜番劉王林（四一）の素行及び友交關係に付いて取調べの結果、被害者の賭博友達である山東省朱城縣生れ市內北芝蘭子街二居住劉貴棠（三四）を怪しいと見てより時を移さず一日夕刻和順署捜査隊が同人の自宅を襲ひ本廳に連行取調べたが、口を緘して語らず嚴重追及の結果二日午後に到り漸く左の犯行事實を自白した、卽ち同人は三十一日被害者劉王林と賭博を行つたが負けたので金を三十圓借せと言つたのに對し拒絶されたのを遺恨に思ひ同夜前記エムラス道路工業夜番小屋へ忍込み手斧を以て王林及び同室で就寢中の同人長男明均（一七）友人王德勝（三一）を道伴れに慘殺の上有合せの現金十圓を盗出して何食はぬ顔で自宅に潜伏してゐたものである

けふ（三日）

▲第一回全滿氷上競技第二部選手權大會　兒玉公園午前十時より

プロムナード

正月を旅順大連或は湯崗子、五龍背溫泉で過ごす大官、重役も相當あるやうだが、大津關東局總長は押し詰つた舊臘三十一日早朝單身で歸京、廣い官邸で正月を迎へた▼夫人、令孃は東京に殘して歸京したので三十一日には自ら「搗はり餅」に飾りをつけて大多忙▼「獨身で正月をするなんて何年振りかである、今年は靑年の氣持で大いに頑張らう」と大いに張り切つてゐる、「獨身は人を若くする」といふわけでもあるまいが、正月らしい風景ではある

若殿膝栗毛（上總の巻）（二百二十一）

中川雨之助 作　竹[illegible]一郎 畫

短銃と礫

第一、第二番の艀は、既に闇の沖合に、その艦影を消した。

沖の遥かにポッツリ一點の火の揺れるのは、位置を知らせる親船の合圖の煙火である。

續いて、第三番の艀が、今まさに岸を離れようとして水夫は棹を突張つて居る。これが殿りの艀である。

それには頭領の末次十左衛門等が、來る筈である。

この三番の艀が着くのを待つて親船は、錨を拔いて、一路長崎に向ふべく、水夫、楫取等、手具脛引いて待ち受ける。

その時、火勢はいよ／＼熾むにさしもに宏壯を誇つた奇妙院の建築も、みる／＼うちに、渦巻く火焔と火の粉と、黒煙との中へ、ガラ／＼と燃え落ちて行く。

「さあ、一同船へ……」

末次老人の合圖で、バラ／＼と小松原から海岸へ駈けて行く黒影。

後では、ヂャン／＼と、消魂ましく鳴り競ふ半鐘の音。罵り喚き合ふ人聲。

と、波打際近く老人等が進んだ時、突然、一同を包圍する形で、バラ／＼と左右から追つて來た人數がある。

これぞ、長七郎の率ゐる追撃隊であつた。

が、間一髪の際どいところで、老人等は既に艀けの人となつてゐた。

折柄轟然たる大爆音とともに、あたりがパッと明るくなつたのは奇妙院の目標であつた彼の高塀が焼け落ちたのである。

その火光の中に、いままさに岸を離れようとして居る老人等の艀を發見したのは英之助。

「待てッ」と、大喝一聲、飛鳥の如く駈けつけたがもう遅い。只乗り遅れた敵の一人が、ザブ／＼、海中に踏み入つて艀を追うて行く背後から、同じく浪間に躍り入つた英之助。面倒とばかり。

「えいッ」と後ろ袈裟の一ト太刀。敵は「わッ」と筋斗うつて浪間へ倒れる。

その隙に、艀はツツと、三四間ほど沖合へ。

我を忘れて、腰まで海中に躍り入り「えいッ」と、横に揮つた、英之助の一刀だつたが、残念ながら聊か屆かない。

それを愚弄するやうに、艀の中に笑聲が聞えた。

英之助。眼を瞋らし、歯噛みをしたが、どんなに口惜がつても、水と艀では追付かない。

「香島は居らぬか、妹は……？」と、口にこそ出して言はないが、伸び上つて艀の上の黒影の中に、それに似た姿はないかと求めたが、それらしいものが見當らない。

思ひは同じ長七郎も、浪打際で焦りに氣を揉んで居る。

その姿を、火明りで發見した艀の末次老人。いきなり、短銃の狙ひを定めて轟然一發。

艦も味方も、この不意打に驚いたが、天の助けか銃丸は、ハッと砂に伏せつた長七郎の頭上を掠めて、うしろに居つた武藏屋の乾分の一人を傷づけた。

ちやうど、長七郎の横に立つて居たのがお銀。銃音に、ハッと膽を冷したが、長七郎に怪我が無かつたので、先づ安心。

いきなり、足もとの小石を拾ひ上げ。

「そつちが、飛道具なら、こつちもこれを……」と、右手を高く、二三度宙に振廻したかと見れば。

「えいッ」と一聲。掛聲の聲。ビュンー

唸りを立てゝ飛んだ小石。

ラヂオ　けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局 三日（火曜日））

朝

七、五〇（安東）元始祭

八、二〇（大連）初春小鳥の鳴聲　入港船のお知らせ

八、二五（大連）朝の音樂　管絃樂一八一二年序曲　チャイコフスキー作曲　フィラデルフィヤ交響管絃樂團

九、〇〇 氣象通報

九、三〇（大阪）子供の時間　童話劇朝陽映島　劇團ドオゲギ

一〇、〇〇（大阪）武運長久神詣で　和歌＝伊勢皇大神宮　川田順

一〇、四〇（奉天）講演 ＝錦州より中繼＝ 皇軍錦州入城の追憶と其意義並錦州の現狀　在錦州滿洲國軍顧問 陸軍歩兵中佐 堤雄平

晝

一一、五九（東京）時報

〇、〇一 小唄　唄 田村小勝　三味線 田村小初

（イ）門松（ロ）阿波座がらす（ハ）春風そよ／＼（ニ）いざさらば

唄 田村小初　三味線 田村小勝

（イ）梅ヶ香（ロ）殘る月（ハ）春風が誘ふ（ニ）初出見よとて

〇、三〇（東京）ニュース

一、〇〇（東京）ラヂオ聯曲　解説 竹川禮子　合唱 東京リーダーターフェル フェライン 東京フラウエンコール　鈴木正夫 外大ぜい　軍國の春に歌ふ 北村喜八・作

二、〇〇（東京）レヴュー ＝國際劇場より中繼＝ 防共の誓ひ　中山晋平作詞作曲　作並出演 松竹少女歌劇團　音樂指揮 淺井擧曄　水の江瀧子

四、〇〇（東京）ニュース　氣象通報

夜

六、〇〇（東京）子供の時間　ラヂオ歌繪巻　日本三大お伽噺（三）猿蟹合戰　アタゴ子供會

六、二五 趣味講演　屠蘇の話　奥田美德

七、〇〇（東京）ニュース　告知事項・今晩の番組

七、三〇（東京）哥澤　唄 哥澤芝金　三味線 哥澤芝勢以　一、夜櫻　二、鷺のさゝなき

七、四〇（北京）絲竹合奏　張松山外

七、五〇（南京）（未定）

八、〇〇（東京）歌謠曲　三味線 市丸　同 静香　合唱 日本ビクター合唱團　鳴物 福原百之助社中　指揮 鈴木静一

一、羽子板　二、青空戀し　三、濡れつばめ　四、天龍下れば　五、千鳥格子　六、日の丸音頭

八、二〇（東京）ラヂオ小說　津輕の野づら　深田久彌原作　小林勝脚色　原節子　北澤彪　御橋公　堤眞佐子　解說

八、五五（大阪）人形淨瑠璃　東京放送管絃樂團

小唄

（三日午後零時一分）

唄 田村小勝　三味線 田村小初

一、門松　二、阿波座がらす　三、春風がそよ／＼　四、いざさらば

唄 田村小初　三味線 田村小勝

一、梅が香　二、殘る月　三、春風が誘ふ　四、初出見よとて

【寫眞は右小勝さん、左小初さん】

門松

門松に一つとまつた追羽根のそれから明ける年の朝、はやもう三河の太夫さん、ア、ヤンリヤ目出度や、鶴は千年、鳥追や海上遥かに見渡せば年始御禮は福徳や、友は勇みの彼羽識、エンヤリヤ空も晴れたり奴

阿波座がらす

阿波座がらすは浪花がた、藪うぐひすは京そだち、吉原すゞめを羽がひにつけ、江戸で男と立てられた男の中の男一匹、何時でも尋ねて御座えやし、薩ぜんすゑて待つてをりやす

春風がそよ／＼

春風がそよ／＼と福は内へとこの宿へ、鬼は外へと梅が香そゆる、雨か雪か、まゝよまゝよ今夜もあしたの晩もゐつゞけしよ、玉子酒

いざさらば

いざさらば雪見に轉ぶところまで連てゆかうの、向島梅若かけて家根船にうゐた世界ぢやないかいな

梅が香

うめが香をさいはひ東風がさそひ候、かしくと書いたつく／＼しぬしに扇を重ねてそして、たれをまねぐか早の、手ごとゝいふもはづか厳く、かほに初日が、エ、さすわいな

殘る月

のこる月なんの氣もなく、窓の竹うつしてうれしいさゝきばん、宵の口舌に明の鐘

春風が誘ふ

春風が誘ふか女の身にしみぐ／＼と、ア、軒の梅、うつろうものと知りながら、あへば男の口ぐるま

初出見よとて

初出見よとて、出をかけて、先づ頭取の伊達すがた、よい道具持、意氣なぼんぶ組、エ、ずんと立ッ、梯子のり、腹鑑おや、吹[illegible]し、さかさ大の字、ぶら／＼谷のぞき

四日のプロ

朝

七、五〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ

八、一〇 ニュース

八、四〇（大連）朝の音樂　管絃樂　ロザムンデ序曲・舞踊曲　シューベルト作曲　ハルレ管絃樂團

九、〇〇 氣象通報

九、〇五（東京）經濟市況

九、三〇（東京）經濟市況

一〇、四〇（大・新）經濟市況

一一、三五（大連）經濟市況

一一、四〇（東京）經濟市況

一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一（奉天）晝の演藝　輕音樂ルンバ集　ヒス・キューバンス　シユウトアンド　指揮 周東勇

一、アリババ　二、キンババ　三、ハレムボレロ　四、タブー　五、ルンバタンバラムバ　六、ジャングルラムバエフエクト

引續き講談社提供キングレコード流行歌　A、南京波止場 林伊佐緒　B、ハルビン夜曲 松島詩子

一、三〇（東・新）ニュース

三、〇〇（大・新）經濟市況

三、二〇（東京）經濟市況

四、〇〇（東京）ニュース　氣象通報・ニュース

五、二〇（奉天）ニュース「鮮語」　講演「鮮語」（奉天）

夜

六、〇〇（大阪）子供の時間　お話と音樂　ボクラノオ正月　オハナシクラブ　曾元煥

六、二〇（大連）コドモ新聞

六、二五（哈爾濱）趣味講演　兎の話　平山達

七、〇〇（東京）ニュース、告知事項、今晩の番組

七、三〇（東京）國民歌謠　國に誓ふ　合唱 東京シンフオニツクコーラス　伴奏 東京放送管絃樂團　指揮 池讓

七、四〇（東京）講演—未定—

八、〇〇（東京）室内樂　東京絃樂團　ブランテンブルグ協奏曲第五番ニ長調　バッハ作曲

八、三〇（大阪）講談　木村の勘忍袋　旭堂南陵

九、〇五（東京）詩吟　一、述懐 乃木希典作外　木村岳風

九、一二（東京）國民歌曲　明け行く島　相馬御風作詞　下總皖一作曲　杵屋佐吉　中能島欣一　杵屋左吉　中能島欣一　中村淑子　福原百之助　伴奏 東京放送管絃樂團 ブラームスコール　指揮 篠原正雄

九、三九（東京）時報・ニュース　ニュース解說　氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組

一〇、三〇 ニュース再放送

一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間　アナウンサー 上森、池谷（晝）田中（朝）荒井、渡邊（夜）